

第20回猿楽祭参加イベント

猿楽祭

奥能登 珠洲 復興支援

アート販売会

2024.11.2[土] - 11.3[日] 10:00 - 17:00

会場：アートフロントギャラリー(代官山ヒルサイドテラスA棟)

今年元日、能登半島地震で壊滅的な被害を受け、長い復興への道のりを歩みはじめた石川県珠洲市を9月21日、記録的な豪雨が再び襲いました。私たちアートフロントギャラリーは、代官山ヒルサイドテラス秋恒例の「猿楽祭」において、奥能登国際芸術祭ゆかりのアーティスト57組による「奥能登珠洲復興支援アート販売会」を開催いたします。珠洲に心を寄せる皆さまのご来場をお待ちしています。

【出展アーティスト】

ファイグ・アフメッド、シリル・アベディニラッド、アナ・ラウラ・アラエズ、青木野枝、浅葉克己、麻生祥子、EAT&ART TARO、池田晶一、石川直樹、植松奎二、牛嶋均、梅田哲也、大岩オスカル、大川友希、奥村浩之、小野龍一、尾花賢一、OBI、Ongoing Collective、角文平、金氏徹平、河口龍夫、久野彩子、栗田宏一、小山真徳、SIDE CORE、佐藤貢、さわひらき、塩田千春、四方謙一、芝山昌也、城保奈美、杉谷一考、鈴木泰人、泰然+きみきみよ、高橋治希、竹中美幸、カン・タムラ、リチャード・ディーコン、中島伽耶子、南条嘉毅、Noto Aemono Project、のらもじ発見プロジェクト、橋本雅也、bacilli、蓮沼昌弘、眞壁陸二、三宅砂織、村尾かずこ、村上慧、盛圭太、山本基、弓指寛治、嘉春佳、よしだぎょうこ、吉野央子、力五山



今年の8月31日に馬繰地区で開催された「砂取節まつり」のようす

奥能登珠洲復興支援 アート販売会

日時：2024年11月2日(土)、3日(日) 10時～17時
会場：アートフロントギャラリー
(東京都渋谷区猿楽町29-18ヒルサイドテラスA)

豊かな里山里海文化が息づく石川県珠洲市。その魅力を現代アートによって高め、地域の展望をつくるために2017年より開催されてきた奥能登国際芸術祭。昨年秋の第3回展では人口1万2000人の市に5万人の来場者がありました。しかし、そのわずか50余日後、珠洲は能登半島地震により大きな被害を受けました。「奥能登珠洲ヤッサープロジェクト」は、珠洲に心を寄せる人たちの想いをつなぎ、復興の力とするために立ち上げられました。

「奥能登珠洲復興支援アート販売会」は、奥能登国際芸術祭に参加した国内外のアーティスト57組がその復興を願い、作品を提供、その収益を「奥能登珠洲ヤッサー基金」に寄付するものです。会場では作品を一堂に展示・販売すると共に、ヤッサープロジェクトの活動報告を行います。

また、猿楽祭では防災シンポジウムを開催。珠洲市副市長をお迎えし、珠洲の現在をご報告いただく予定です。皆さまのご参加・ご協力をお願いします。



猿楽祭シンポジウム「防災はコミュニティをつくる」

日時：2024年11月2日(土)14:00 - 16:00
会場：ヒルサイドプラザ(定員150名) ※入場無料 要予約
主催：猿楽祭実行委員会
共催：代官山6町会有志、代官山商店会、代官山ステキなまちづくり協議会、代官山ステキ総合研究所
協力：渋谷区
問合せ・予約申込先：TEL 03-5489-3705
Email: matsuri@hillside terrace.com

- プログラム：①基調報告「奥能登珠洲からの報告」金田直之(珠洲市副市長)
②問題提起「“代官山なら守ってもらえる”と思われる街に」北川フラム(アートフロントギャラリー代表、奥能登珠洲ヤッサープロジェクト代表)
③ディスカッション「防災はコミュニティをつくる」
斎藤兼一(渋谷区危機管理対策監)、
本所優(代官山T-SITE館長)、丸茂修子(防災士)、
矢野美千代(代官山避難所運営委員会)、
朝倉健吾(ヒルサイドテラスオーナー)他

奥能登珠洲復興支援アート販売会

主催・お問合せ

(株)アートフロントギャラリー

東京都渋谷区猿楽町29-18 ヒルサイドテラスA棟

TEL: 03-3476-4868 FAX: 03-3476-4874

